

神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会ニュース

第34号

平成23年1月18日発行
事務局
県立青少年センター
科学支援課
☎045-263-4470

科学ボランティアとしての思い

理事
かわさきアトム工房
代表 酒井 義彦



かわさきアトム工房は科学ボランティア活動を初めて8年になります。

私たちの団体は、川崎市主催の「かわさき科学塾指導者養成講座」の受講生有志で、実験や工作を通して子ども達に科学の楽しさ・面白さを広めようという、実験大好きな社会人が集まり「かわさきアトム工房」を発足させました。この講座の発案者は、子ども達の科学離れを危惧されていた「発見工房クリエイト」の橋本静代先生です。橋本先生は、地域に密着した幅広い層の大人が、子どもたちの好奇心の芽を育てることにより、社会人でも教育の一端を補助することができるだろうと考えられたものと思います。

私も、「科学塾」というので、敷居の高さを感じましたが、参加資格に制限はなく、一般市民が応募できるというので参加しました。受講してみると、学生時代の理科実験を懐かしく思い出し、日常生活や身近な環境にもたくさんの科学が潜んでいることを教えていただき科学の面白さを痛感したので、私もこの活動に参加してみようと思いました。

その当時、川崎市を科学の町にしようという構想もあり、私たちの団体を支援しようという環境（教育委員会・さわやか福祉財団・アジレントテクノロジーなどの企業）にも恵まれ、市民活動の第一歩を踏み出しました。川崎市青少年科学館・東芝科学館からは現在も支援を頂いており、活動の原動力となっています。東芝科学館では、小学校低学年と保護者が参加する「アトム工房実験教室」を毎月実施しています。また青少年科学館では、実験場所を提供して頂き、「わくわくドキドキ玉手箱」の教材を使用して実験しています。このように教材や場所の提供を頂き、たくさんの子供たちが参加しやすい環境にあることを大変ありがたく思っています。

実験教室では、子どもと保護者が一緒になって科学の不思議さや楽しさを共感している様子や、工作などで達成感を得られた子どもたちの笑顔が見られ、たくさんの元気をもらっています。ここに、高学年の参加者が増えることを望んでいます。私たちは、子どもたちに科学の楽しさや面白さを自分の手で感じ取る体験が出来るよう、教材にも工夫をしていきたいと考えています。今後も、子どもたちが科学好きになり、未来の科学技術につながる夢や希望を持てるように、ものづくりにもつながる意欲をサポートする活動を続けていきたいと思っています。

私は今、小学校で理科支援員をしています。理科実験授業の時間は少ないように感じられます。未来ある子どもたちにとって、理科実験を充実させるためにも、科学実験教室のように、長時間授業（90分で1授業）が取り入れられればよいと考えられています。

かわさきアトム工房のホームページ <http://www.geocities.jp/kawasakiatom/>

子どもサイエンスフェスティバル 県央地区大会

12月18日(土)



あっと驚く「世界で一つのカラー写真」を作ってみよう！
富士フィルム神奈川工場



飛ぶ科学を体験しよう！
宇宙航空研究開発機構



鶴見川流域水族館
鶴見川流域センター

どのブースも大盛況でした。
ご出展ありがとうございました。

子どもサイエンスフェスティバル
冬のおもしろ科学館
県央地区大会
時間 30分
入場自由
主催 県立青少年センター・大和市教育委員会教育
共催 神奈川県青少年科学体験活動推進協議会



不思議な絵(字?)を作ろう

紅葉ヶ丘無線クラブ



液状化現象について学ぼう

温泉地学研究所



入場者数
489名

子どもサイエンスフェス
=冬のおもしろ科学

ミニ・プラネタリウム
冬の星座を楽しもう

投影時間

- ① 10:15 ~ 10:30
- ② 10:45 ~ 11:00
- ③ 11:15 ~ 11:30
- ④ 11:45 ~ 12:00
- ⑤ 13:15 ~ 13:30
- ⑥ 13:45 ~ 14:00
- ⑦ 14:15 ~ 14:30
- ⑧ 14:45 ~ 15:00
- ⑨ 15:15 ~ 15:30

はまぎんこども宇宙科学館

ミニ・プラネタリウムで冬の星座を楽しもう！
はまぎんこども宇宙科学館

キッズ・サイエンス・パーク
海洋研究開発機構



ジャムステック

キッズ・サイエンス・パーク

～海と地球の実験・工作教室～

- ⑩ 10:00～11:00 [工作]
深海の生き物「スケリーフット」を作ろう
- ⑪ 11:00～12:00 [実験]
深海1000メートル 水のちからで水圧実験
- ⑫ 12:00～13:00 [工作]
深海の生き物「ユメナマコ」を作ろう
- ⑬ 13:00～14:00 [実験]
深海マイナス1万メートル 空気の重さを感じよう
- ⑭ 14:00～15:00 [工作]
深海の生き物「スケリーフット」を作ろう
- ⑮ 15:00～15:30 [実験]
深海1000メートル 水のちからで水圧実験

今年度の子ども科学探検隊が終了しました！

よこはま動物園ズーラシア 12月11日(土)



エミューの羽を触ったことが
印象に残っています
(小学5年女子)

バックヤードなどふだ
ん見れないところが見
れてよかった
(小学5年男子)



動物たちのエサを間近で見
ることができてとても面白
かった(中学1年男子)



金沢動物園 12月12日(日)



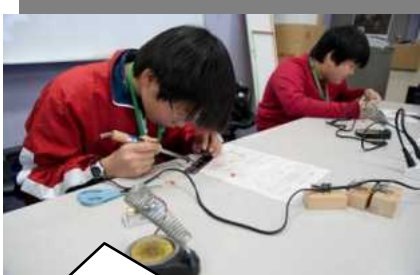
象の歯を初めて見て、あんな
重いものが口の中に入ってい
るのがたいへんと思った
(小学5年女子)

動物園は楽しむためじ
ゃなく保護をし学ぶた
めにあることを学びま
した(小学6年男子)



キリンのオリの中から
キリンを見た。キリン
の部屋は意外と清潔だ
った(小学5年男子)

伊勢原市立子ども科学館 12月23日(祝・木)



ハンダづけを初めて
体験しました。実際
やってみるととても
おもしろかったです
(中学2年男子)

静電気がどういうもの
なのかよくわかりまし
た(小学6年女子)



一番おもしろかったのはい
なば先生の話でした。今度
からは「何で？」と思っ
たことは調べてみようと思
いました(小学5年女子)



第44回神奈川県青少年科学作文コンクール 入賞作品



賞名	作品名	氏名	学校名
神奈川県知事賞	南足柄のカエルと自然を見つめて	松岡 里咲	南足柄市立南足柄中学校
みどり賞(みどりの 保全・環境特別賞)	水の中の小さな生き物	藤原 美穂	葉山町立上山口小学校
神奈川新聞社賞	植物の防カビ効果について	遠藤 海斗	開成町立文命中学校
	水の塩分と植物の成長	伊東 笑里	座間市立東中学校
テレビ神奈川賞	水質を科学する	林 祐志	川崎市立生田中学校
	Colorfulなお花をつくろう	小野 恵実利	開成町立文命中学校
アール・エフ・ラジオ 日本賞	骨伝導の研究	北本 礼	南足柄市立岡本中学校
	クリーンア～薬を使わない改善化～	松坂 善太	横浜市立もえぎ野中学校
学研賞	ヤゴの「元気なトンボになれるかな？」	嶋田 菜桜	横浜市立川上北小学校
	竹炭を作る。竹を考える。	福本 真絵	葉山町立上山口小学校
東京電力賞	PHによる茶の色の变化についての研究	原田 真実	南足柄市立南足柄中学校
	ベンハムの独楽の研究	大野 重範	逗子開成中学校
科学の芽を育てる 大学賞	おいしい水ってどんな水？	秋山 忍	中井町立中井中学校
	キラキラ光る貝がらや昆虫の色に関する 研究	北條 愛美	南足柄市立岡本中学校
東芝科学館賞	太陽光エネルギーについて	伊藤 芽衣	南足柄市立南足柄中学校
	太陽と色の力	曾根 理子	座間市立東中学校
(財)神奈川科学技 術アカデミー賞	水溶液の不思議 ～食塩水と砂糖水の違 い～	荻野 加奈子	座間市立東中学校
	テニスボールの弾み方の研究	遠藤 凌太	南足柄市立南足柄中学校
(財)東京応化科学 技術振興財団賞	ゼラチンと寒天の比較から分かった「たん ぱく質分解酵素」の存在	熊澤 美帆	鎌倉女子大学高等部
	私に降り注ぐ紫外線を調査 Part2 ～反 射について～	市川 由佳梨	南足柄市立南足柄中学校
青少年センター館 長賞	バクテリアを使って生ゴミ処理 Part2	高橋 望史	開成町立文命中学校
	液晶と印刷物の色の不思議	下野 龍太	南足柄市立岡本中学校
優良賞	お風呂の中で鏡のくもりを防ぐ研究	古屋 里紗	開成町立文命中学校
	LOHASな紙、梅炭おりがみ	相川 愛良	横須賀市立久里浜中学校
	将来のために必要な発電方法	広瀬 勝矢	三浦市立南下浦中学校

